

神奈川県古文書資料所在目録

第 23 集

神奈川県立公文書館

序

神奈川県立公文書館は平成5年11月の開館以来、神奈川県下に所在する資料及び神奈川県に関する資料の調査・収集、保存、マイクロフィルム撮影、県民への提供などの事業を実施してまいりました。この目録は、古文書所在調査事業の結果をまとめたものです。

古文書調査は、地域の都市化の中で散逸しつつある貴重な先人の文化遺産である文書資料を発掘・調査し、保存のための対策を行い資料目録を作成する事業です。同時にこれら資料をマイクロフィルム撮影し、利用に供することも目的のひとつにあります。

本目録は、平成11・12年度に調査を実施し目録が完成した資料のうち、葉山町内、三浦市内と横浜市内の古文書資料目録を収録しました。三浦市内の調査では、市と県との合同調査として実施しましたが、資料所蔵者の方、各教育委員会、それに12年度調査継続中ではありますが、葉山町企画課、葉山町立図書館、には甚大な御協力と御支援とをいただきました。ここに厚くお礼申し上げますと共に、今後の御協力と御鞭撻とをお願い申し上げます。

なお、本事業は県史編集室、県立文化資料館で実施して参りました調査・収集事業を引き継いでおり、それらの調査目録とを併用して御利用いただければと存じます。

平成13年3月1日

神奈川県立公文書館
館長 岩崎 純夫

凡 例

- 1 本冊には、葉山町の守屋大光氏、三浦市の長谷川稔氏、三浦市教育委員会文化財収蔵庫（郡役所文書、米田キミ氏寄贈江都絵図、金田区な組祭礼資料、上宮田漁業組合文書）、横浜市の金子浩一郎氏が所蔵する文書・資料を収録した。
- 2 資料の分類方法は、現状の形態の保持を原則としたが、対象資料が元々の伝来形態を留めていないことから資料全体を冊子型と書状型とに分け資料内容の項目ごと年代順にならべた。所蔵資料が少ない場合は、項目別分類はかえって煩雑になるので、全資料を編年することにとどめた。また、特色のある資料が纏まって存在する場合は、独自の項目を立てた。また、県史編集室で調査分類された資料はその分類方法に従った。

主な分類項目は次のとおり。

冊：冊子型

横：半紙を横に二つ折りにして右側を綴じた型

状：書状型

- 3 資料名の記載の無い文書や年代不明の文書には、資料内容から標題及び年代を推定し（ ）で括って表示した。
- 4 資料の調査・整理・マイクロ撮影の実施に当たり、各所蔵者から懇切な御協力を頂いた。三浦市内の予備調査・本調査を同市教育委員会文化財保護係と合同で実施した。

葉山町立図書館長森谷 弘氏、館長代理岡田恵子氏、館員宮田文子氏から調査・整理に当たり懇切な御高配を得た。

5 調査員

樋口雄一、小松郁夫、久保田和彦、杉原誠一、藤井雅夫、武川喜正、眞仁田和久、望月雅子、富川貴子、藤井一夫、坂本三夫、前田克美、伊澤友紀子、安田晴男、石井由里子、田島光男、音川欣一郎、風巻義章

（三浦市教育委員会）飯島重一

目 次

序 文

凡 例

葉山町 堀内	守屋大光氏所蔵文書	1
三浦市 南下浦町金田	長谷川稔氏所蔵文書	111
城山町	三浦市教育委員会文化財収蔵庫文書	121
横浜市 港南区笹下	金子浩一郎氏所蔵文書	131
収録文書資料所蔵者別解説		192

